

鹿児島市長 様

【金融機関等支援機関】

住 所 鹿児島市●●丁目●●番●●号  
名 称 株式会社●●●  
代表者役職 ●●支店長  
代表者氏名 ●● ●●

「鹿児島市地場産品創出設備等支援事業補助金」に係る金融機関等支援機関による確認書

記

事業者名 : 株式会社○○

事業計画名 : 黒毛和牛ハンバーグ 生産性向上プロジェクト

上記の事業計画書及び財務状況等の確認を行い、本事業計画の実現可能性が一定程度あること及び実施による効果が見込まれることを確認しました。

【金融機関】

担当者名 : ●● ●●

所属部署 : ●●支店

電話番号 : 099-987-6543

担当者メールアドレス : ●●●●●●@●●.jp

※代表者氏名欄に記入する氏名は、記載する金融機関の内部規定等により判断してください。

※本確認書は、融資の確約を前提としたものではありません。

## ※以下は任意で記載してください。

(1) 財務諸表等の確認により、本事業計画の実現可能性が一定程度あると判断する理由。

(補助金の交付決定状況等に応じて融資の可能性がある場合にはその理由)

- ・当行は、当該事業者と継続的な取引関係を有しており、定期的な決算書の提出や面談等を通じて、同社の財務状況および事業内容の把握に努めている。
- ・提出された直近複数期の財務諸表を確認したところ、売上規模や収益状況は業況に応じた一定の変動はあるものの、事業継続に支障を来すような著しい財務悪化は認められない。また、資金繰りについても、現状において大きな懸念は生じていない。  
(・提出された直近複数期の財務諸表を確認したところ、直近決算期においては収益面で若干の低下が見られるものの、これは原材料価格の高騰および一時的な関連費用の増加による影響が主であり、本業の受注動向や資金繰り状況を踏まえると、事業継続に大きな懸念が生じるものではない。など)
- ・本事業計画は、同社がこれまで取り組んできた主たる事業の延長線上に位置づけられる内容であり、過去の事業実績や経営姿勢を踏まえると、計画の方向性について一定の合理性があると考えられる。
- ・設備投資に係る資金計画については、本補助金の活用を前提とすることで、自己資金および借入金による過度な資金負担を回避できる内容となっており、計画どおり事業が進捗した場合には、資金繰りに重大な支障が生じる可能性は低いものと判断する。
- ・以上の点を総合的に勘案し、現時点において、本事業計画には一定程度の実現可能性があるものと考えている。  
(・なお、本事業については、補助金の交付決定状況、今後の事業進捗および業績推移等を踏まえたうえで、当行として追加的な金融支援を検討する余地があるものと認識している。)

(2) 本事業計画の実施による効果が見込まれると判断する理由

- ・本事業計画は、ふるさと納税返礼品としての提供を念頭に置いた商品開発および生産体制の強化を目的としたものであり、同社にとって新規性がありつつも、これまでの事業経験やノウハウが活かされる内容であると考えられる。
- ・設備導入により、生産能力の向上や品質の安定化が図られることで、既存取引先への対応力の強化に加え、新たな販路開拓や売上拡大につながる可能性がある。
- ・特に、ふるさと納税返礼品としての活用が進んだ場合には、比較的安定した受注が見込まれ、収益基盤の強化や事業の持続性向上に寄与する効果が期待される。
- ・以上のことから、本事業計画を実施することにより、同社の中長期的な事業成長および財務基盤の安定に一定の効果が見込まれるものと考えている。